

## 【野外活動】グリーンアドベンチャー

地図上に示した学習コースを巡ると樹木名板を取り付けた樹木と、グリーンアドベンチャー用のポイントが設けられています。樹木名板の取りつけられた樹木の特徴をよく観察し、特徴を覚え、ポイントの取りつけられた木の名前をあてる競技です。ルールも簡単なので誰でも楽しむことができます。

- (1) ねらい      グリーンアドベンチャーを直訳すると「緑の冒険」となります。緑は自然と置き換えることができます。植物は自然の営みと共に生きるために必要な機能、「寒・暖に耐える機能」「日光を吸収する機能」「冬を生き延びるために葉を落とす落葉樹」など、それぞれが生きるために必要な機能を持っていることに気づきます。普段なにげなく見ている身近な植物をよく調べていく中で、新しい発見もあり、自然の神秘さや美しさを味わうことができ、自然愛護の心を養うことができます。グループで意見を出し合うことにより、観察力、注意力、判断力、創造力を養い、協力、友愛など好ましい人間関係を育て、また、「人それぞれに感じ方が違う」など感性の違いを認め合う力を養うことができます。
- (2) 対 象      小学校高学年～大人
- (3) 時 期      4月～10月
- (4) 所要時間      競技時間      1時間30分      説明時間      15分～20分      約2時間
- (5) 事前指導      ・グリーンアドベンチャーの意味と競技方法を理解させる。  
・地図の見方を理解させる。  
・リーダーを中心にして行動できるチームワークづくりをさせる。  
・安全に対する注意力を周知する。
- (6) 服装と準備物      ④動きやすい服装（長袖シャツ、長ズボンが望ましい）、運動靴、筆記用具  
⑤トランシーバー用乾電池（単3型 1台につき3個）、解答用紙  
⑥次の物品は所の方でも貸し出します。  
地図、解答、解答用紙の原本、学習コースにある樹木、トランシーバー、バインダー、ゼッケン
- (7) 指導上の注意事項      ・地図の見方を確認し、正しい判断ができるようにさせる。  
・個人が勝手な行動をとらず、リーダーを中心によく話し合い、知恵を出し合ってポイントを見つけるようにさせる。  
・遊歩道以外のところは歩かないようにさせる。また季節によっては、マムシ、ハチ、ハゼの木、サルトリイバラなどに注意させる。  
・スタート時とゴール時の人員の確認を厳重にする。  
・指導者は事前にコースを下見し、実施時には次の係を決め、安全に配慮する。

スタート係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技開始前の必要な指示、連絡をする。</li> <li>・班ごとにコース図を配布する。</li> <li>・各班を順番に、所定の時刻に正しくスタートさせる。</li> <li>・スタート待ちの者を掌握する。</li> </ul>
ゴール係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ全員が揃っているか確認し、解答用紙を提出させる。</li> <li>・ゴール時刻を記録し、得点を集計する。</li> </ul>
巡回・安全係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技開始前に出発し、危険な場所をパトロールし、参加者のルール違反には、適切な指導をする。</li> <li>・全員通過後、コースその他の異常の有無を確認する。</li> </ul>

#### (8) 競技方法

各グループ毎にコース図を持ち、時差を付けて（3～5分位が適当）スタートします。図の番号①②・・・の順にコースを回り、指定された植物（樹木）の名前を「解答表」に記入します。途中指定された（樹木名板が付いている。）植物（樹木12種類）を見つけ、「葉の形」「葉のもよう」「葉の手触り」「葉の臭い」「葉の付き方」「花や実の様子」「幹の模様」など、特徴をコース図の中の指定された欄に書きます。

標準時間を決め、樹木名の正答と所要時間の得点で順位を決めます。標準時間に対する得点は、主催者が任意で決めます。

指定樹木の観察状況も得点化してもよいでしょう。その場合任意で得点を決めます。

- ポストは遊歩道沿いに設置されており、藪の中を探する必要はない。
- 1つの班は3～5人位が個々の力を発揮しやすいと思うが、こだわる必要はない。
- スタートは、『時差スタート』で競技は楽しく行うことができる。

#### ◎時差スタート

- ・チーム毎に時差をつけてスタートする。最低3分以上の時差をつけた方がよい。
- ・コースは主催者が決めた通りに巡り競技する。（全チーム同じ方向へ向かってコースを巡る）。
- ・競技者は、全ポストを探し、正答数と時間の長、短を競うことになる。
- ・スタート時にスタート係に出発時刻を記入してもらい、ゴール時にゴール係に解答用紙を提出する。  
ゴール係は、ゴール時刻を記入し、採点する。
- ・ゴール時にはメンバー全員が揃っている事が条件であり、欠けている場合は最後のメンバーがゴールした時点の時刻となる。
- ・チームによって競技時間に差があるため、プログラムの時間計画を多く取る必要がある。